

令和7年度 自己評価結果シート

1 保育園の保育目標

一人ひとりの子どもの人権や自発性を最大限に尊重し、生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な乳幼児期の子どもたちに必要な養護と教育を一体的に行います。
グローバルな時代を生きていかなければならない子どもたちは多くのことを学ばなければなりません。
その基礎となる「体力・コミュニケーション能力・創造力」を持った子どもを育成します。

2 本年度取り組む重点目標

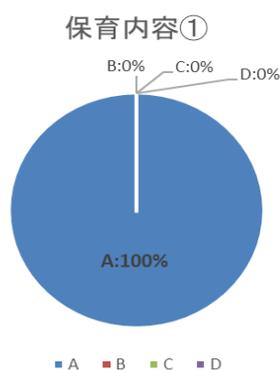
保育内容①	好きな遊びを見つけ、繰り返し取り組む
②	身体を動かすことを楽しみ、元気に過ごす
保護者支援	家庭との連絡を密に取りながら、信頼感安心感のある環境づくりをする
保育に対する職員の姿勢	お互いを認め合い、学ぶ姿勢を持って取り組む

3 重点目標の達成及び取組状況【結果】

A: 十分達成されている **B:** 達成されている **C:** 取り組まれているが、成果が十分でない **D:** 取り組まれていない

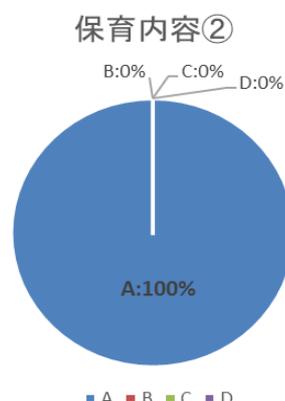
評価項目	A	B	C	D
保育内容①	100	0	0	0
保育内容②	100	0	0	0
保護者支援	63	38	0	0
職員の姿勢	100	0	0	0

【保育内容①（遊びの環境づくり）】



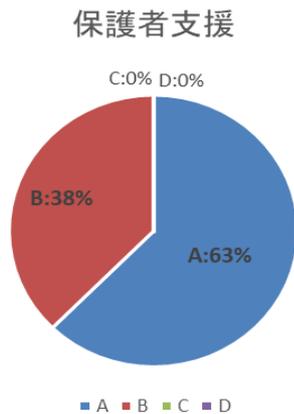
- ・安心して過ごせるよう、落ち着いた環境構成や関わりを大切にしている
- ・子どもの主体性を大切にし、自分で遊びや活動を選べる環境づくりを心がけている
- ・活動内容がより豊かになるよう、保育の工夫やバリエーションを広げていくことが今後の課題である

【保育内容②（身体活動）】



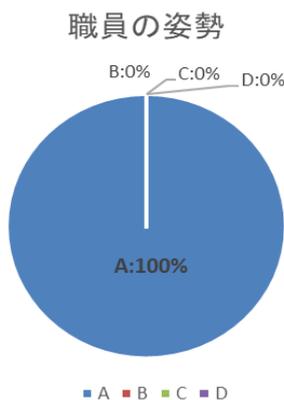
- ・戸外遊びや運動遊びを取り入れ、身体を動かす機会を大切にしている
- ・子どもの発達に応じた無理のない活動を心がけている
- ・活動内容に偏りが出ないように、継続的に内容の見直しを行っていきたい

【保護者支援】



- ・日々のやり取りを大切にしながら、信頼関係の構築に努めている
- ・丁寧な対応を心がけているが、より安定した対応ができるよう工夫していきたい
- ・保護者一人ひとりの思いに寄り添いながら、個別対応の充実を図っていく必要がある

【職員の姿勢】



- ・職員間での情報共有を行い、協力しながら保育を進めている
- ・子ども一人ひとりに丁寧に関わる姿勢を大切にしている
- ・役割分担を意識しながら、さらに連携を深めていくことが今後の課題である

■ 今後の課題

- ・子ども一人ひとりの発達や興味に応じた関わりを、より丁寧に深めていくこと
- ・遊びや活動の内容がより豊かになるよう、環境構成や保育の工夫を広げていくこと
- ・身体活動の内容について継続的に見直しを行い、バランスのよい経験につなげていくこと
- ・保護者との関わりにおいて、より安心して相談できる環境づくりと対応の質の安定を図ること
- ・職員間の情報共有や役割分担をさらに明確にし、連携の充実を図ること
- ・会議や振り返りの時間を有効に活用し、保育の質向上につなげていくこと

■ まとめ（総括）

本園では、子どもの主体性を大切にしながら、保護者との信頼関係や職員間の連携を深め、今後も継続的な振り返りと改善を通して保育の質の向上に努めていく。